

“スマイルなまち”の実現を報告

～子ども市長・市議が教育長を表敬訪問～

11月18日(月)、「スマイルキッズタウンふじえだ」の子ども市長・市議15名が教育長を表敬訪問しました。

今年のスマイルキッズタウンふじえだの報告とともに、来年度の子ども市長・市議がマニフェストと抱負を語りました。

スマイルキッズタウンふじえだとは、子どもたちだけの模擬都市で、働いて報酬(疑似通貨：スマ)をもらい、税金を納めて買い物をすることを通して、社会の仕組みや仕事について学べるイベントです。

NPO法人 スマイル・プロジェクトが主催で、7回目の開催となり、開催中(8/2～4)は1,513人の子どもたちが参加しました。



▲スマイルキッズタウンふじえだの子ども市長・市議たち



今回の教育長訪問では、名刺交換、2019年報告書と2020年マニフェストの手交を行いました。

今年度の子ども市長・植田心子さん(大洲小6年)は、「今年から歌とダンスを取り入れ、笑顔が溢れるまちにできたのでよかった。」と今年の感想を語りました。

◀子ども市長・植田さんから2019年報告書を手交

来年度の子ども市長・塚原葉子さん(稲葉小4年)は、「来年はオリンピックの年。日本中が明るくなるので、スマイルキッズタウンも負けないようにみんなが笑顔になれるように頑張りたい。」と抱負を語りました。

教育長は「来年はこうしたいという夢や目標を持つことは大切なこと。素晴らしいまちを実現できるよう頑張ってもらいたい。」と言葉を送りました。



▲今年の感想を語る子ども市長・植田さん



▲2020年子ども市長・塚原さんからマニフェストを手交